

令和02年度

政務活動費 共通経費 整理表

会派等の名称	奥州みらい
--------	-------

政務活動費 共通経費 整理票			整理番号	01 - 01
			支出整理日	令和 02 年 08 月 24 日
令和02年度	会派等名	奥州みらい	支出項目	研究研修費

共通経費額 (按分対象額)	7,975	円
------------------	-------	---

使途： 一般会計・病院事業にかかる研修会

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	会場費	R02-08-24	7,975		7,975
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			7,975	0	A 7,975

共通経費 按分表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	7	千葉 康弘	1/6	1,329
	2	12	廣野 富男	1/6	1,329
	3	13	及川 佐	1/6	1,329
	4	14	菅原 圭子	1/6	1,329
	5	17	高橋 政一	1/6	1,329
	6	23	小野寺 重	1/6	1,329
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		6	合 計	7,974	

(注意) 按分額の合計は、端数整理(円未満切り捨て)により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	.....
	.....
	.....
	.....

請求書

2020年8月18日

No. 1

〒023-0003

岩手県奥州市水沢佐倉河字後樋12

(一財)胆江地区勤労者教育文化センター

理事長 佐藤 潔

議員団会議様

下記のとおりご請求申し上げます。

税込合計額		7,975 円		税率	消費税額等 725 円	
月	日	品名	数量	単価	金額	適用
8	5	会場使用:会議室	1		5,000	14:00~16:30
		冷房料	2.5	900	2,250	3台使用
		消費税額			725	
※ 振込口座 (一財)胆江地区勤労者教育文化センター 理事長 佐藤 潔 振込先 東北労働金庫 奥州支店 口座番号 普通 No. 3885428 以上、よろしくご請求申し上げます。						
合 計					7,975	

領 収 証 奥州マイン様 No. \_\_\_\_\_

金額

内 訳 \_\_\_\_\_ 但 会場使用料

現金 \_\_\_\_\_

小切手 / 2020年 8月 18日 上記正に領収いたしました

手形 /

消費税額等(%) \_\_\_\_\_

コクヨ ウケ-92N

収入印紙

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字後樋12-1  
 (一財)胆江地区勤労者教育文化センター  
 理事長 佐藤 潔  
 TEL 0197-24-7370

資料1-1

「第1章 胆江圏域の医療・介護の現状・課題 / I 現状・分析」 概要

1.人口推計 / 疾病動向 / 介護認定

[人口推計]

\* H27-H30比較 137,477人→133,200人 △4,277人 △3.1% (江刺△4.5%、衣川△6.4%)

胆江圏域の人口は、令和2年以降、65歳以上の高齢者区分を含め、全ての世代区分で人口が減少することが推計されている。そのような中でも高齢者の割合は増加することから、人口構成の変化に対応した医療・介護の体制が必要と考えられる。

[高齢者の世帯]

\* 世帯数 H27-H30比較 50,422世帯→51,144世帯 722世帯 1.4%増

\* ひとり暮らし : 4,590世帯→5,257世帯 667世帯 14.5%増

\* 高齢者のみ : 5,456世帯→5,676世帯 220世帯 4.0%増

\* 寝たきり高齢者の暮らす世帯 : 434世帯→329世帯 105世帯 24.2%減 ✓ (9p)

人口は減少するものの、世帯数は増加傾向にあり、少人数世帯の増加が顕著。ひとり暮らしの高齢者世帯(10.3%)、高齢者のみの世帯(11.1%)で、全世帯の21.4%を占めており、今後も高齢者世帯の増加傾向は継続することが推察される。

寝たきり高齢者世帯は減少傾向にあることから、在宅での寝たきり症例に対する介護力が低下している状況が推測される。

[介護認定]

\* H30年度介護認定者数 奥州市7,704人(認定率18.8%) 金ヶ崎町763人(認定率15.7%)

\* 令和7年度介護認定割合(見込) 奥州市20.7% 金ヶ崎町17.4%

胆江圏域の要支援・要介護者は、令和7年度までの認定率の上昇が見込まれることから、当分の間は増加(微増)が見込まれる。

2.医療施設 / 3.医療受給

[医療施設]

\* 9病院(水沢6、江刺・前沢・胆沢各1) / 80診療所(水沢46、江刺17、前沢9、胆沢2、衣川1、金ヶ崎5) 20p

病院、診療所の配置は、水沢などの中心市街地に一部集中が見られるものの、診療所を含めた分布状況は、概ね人口分布に応じたものとなっている。 27p

診療科別においても同様の傾向となっており、疾病動向で上位を占めた内科系、眼科系、外科・整形系の分布状況についても、各地域バランスの取れた配置になっている。 28p

[外来]

\* 1日平均外来患者(H27-H29)…病院:微減(1,881人→1,759人) 診療所:微増(3,952人→4,069人) 29p

胆江圏域の外来患者数は、横ばい傾向であり、外来患者の約7割を診療所が受け入れており、一般外来の医療サービスの大半を診療所が担っている状況が認められる。

診療所では、現在の診療数に加え、相当数の受入が可能であるとしており、診療所での医療提供能力は、今後も余力がある状況と見込まれる。 30p

資料1-1

52~57p

[入院]

- \*9病院の入院患者(H27-29)… 微減傾向 7,279人 1.5%の減(489,233人→481,954人) 58-
- \*H31年度余裕度/1日あたり… 132.6人(年換算48,399人) 9(人) -

胆江9病院の入院患者数のH27-H29:3年間の推移がやや減少傾向を示していることやH31年度入院受け入れ余裕度が、1日平均の9病院合計で132.6人となっていることから勘案すると、胆江圏域の入院受け入れは充足しているものと考えられる。

4.在宅医療

7 16k 図

[訪問診療/往診]

- \*訪問診療実施医療機関 20施設(7病院13診療所) 水沢9、江刺3、前沢3、胆沢2、衣川1、金ヶ崎2
- \*訪問診療件数(H27-29) … ほぼ横ばい(3,994件→3,847件 △147件 △3.7%)
- \*往診件数(H27-29)… 減少傾向(426件→376件 △50件 △11.7%)
- \*医療機関による在宅での看取り(H27-29)…横ばい(111件→103件)

胆江圏域で訪問診療を実施している医療機関は20施設あり、居住地域は全てカバーできているものの、訪問診療の実施状況は必ずしも人口比率に合致していない傾向も見られ、今後需要の増加が見込まれる在宅医療に対しては、訪問診療提供の環境が十分とは言えない。

往診の実施状況は、まごころ病院と診療所(16施設)で全体の9割を占め、胆江圏域の大部分を担っている。往診の実施件数は減少傾向を示し、1日平均の余裕度が27.9人との回答があるものの、医療機関による在宅での看取りが横ばい傾向と伸びていない状況となっており、今後の需要増に対して十分な体制であるとは言えない。

[訪問看護]

15p

- \*訪問看護ステーション 11事業所(水沢5、江刺2、前沢・胆沢各1、金ヶ崎2)で衣川以外に分布
- \*訪問看護ステーション利用者実人数(H29) 456人(1事業所当たり45.6人)

訪問看護ステーションの分布状況は、一部に地域の偏在が見られるものの、訪問対象範囲は胆江圏域をカバーしていることから、中山間地域を含めた利用者の需要に対応できる状況となっている。胆江圏域の訪問看護師ステーションの事業所数は、現時点で11事業所あるものの、今後在宅医療の需要の増加が見込まれることから、対応が必要になると考える。

[介護施設]

8/18p

- \*胆江圏域の入所者数… 2,148人(H31.4.1)でH29.4.1との比較で146人の増
- \*介護施設のベッド数… 2,258床(H31.4.1)でH29.4.1との比較で154床の増(稼働数:132床の増) 92
- \*入所待機者(延人数)… 2,689人(H31.4.1)でH29.4.1との比較で61人の増。待機者の8割は特養

介護施設の入所者、待機者とも増加傾向を示し、今後も高齢者世帯の割合も増加が見込まれることから、介護施設への需要増は継続すると考えられる。

入所待機者は、従来からの地域密着型(特養)に加え、認知症対応型での待機者も大幅に増加傾向となっていることから認知症対応の入所需要は今後も増加すると考えられる。

ベッドの増床分に稼働数が追いついていない状況が見られることから、人材確保が困難な状況が推察される。

資料 1 - 1

5. 救急対応

- \* H30年度救急車搬送 5,375人(H29年度:5,220件)、その内、圏域内搬送:4,991人(92.9%)
- \* 救急患者総数(H27-29)… 横ばい(19,283人→19,284人)。このうち、救急車搬送が342人の増に対し、救急外来は338人減少
- \* H31年度救急患者受入の1日平均の余裕度 85.3人

平成30年度救急車搬送の受入状況は、地元医療機関での完結率が92.9%と高く、約6割を占める胆沢病院のほか、胆江圏域に6つある救急告知病院を中心に充足している状況と考えられる。

救急患者全体の約7割を占める救急外来患者数(H29:14,135人)は、全体では横ばい傾向となっているものの、診療所では増加の傾向を示し、これは休日・夜間診療所でも同様の傾向となっていることから、診療所が初期救急に果たす役割が大きくなっている。

救急患者を受入した病院・診療所の分布や地域別の患者数では、一部地域の偏在が見られるものの、概ね対応できている状況と考えられる。

1日平均の余裕度は、85.3人(うち、胆沢病院で62人)となっている状況から勘案すると救急患者の受入余力は高いと考えられる。

6. 高額医療機器の保有状況

- \* CT所有医療機関(胆江圏域)… 15施設 17台
- \* MRI所有医療機関(胆江圏域)… 8施設 8台

人口10万人当たりの平成29年度のCT及びMRIの所有状況については、CTが全国平均11.1台、岩手県平均13.9台、MRIの全国平均が5.5台、岩手県平均8.0台に対し、胆江圏域のCTが12.8台、MRI6.0台となっており、いずれも全国平均を超えていることから、CT、MRI等の高度医療機器に関しては十分な診療提供能力があり、今後、共有使用の観点からも十分に需要を満たすと考えられます。

特に分析が必要な項目

[周産期の状況]

- \* 胆江圏域は「岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏」に属し、当圏域内の地域周産期母子医療センターは、県立中部病院、北上済生会病院、県立磐井病院の3病院
- \* 分娩取扱施設(R1.10.1現在)… 3施設
- \* 分娩取扱件数(H28-30)… 年々減少(535件→346件)
- \* 出生数(H28-30)… 減少傾向(863人→773人 △90人 △10.4%)

[小児医療]

- \* 小児科標榜病院・診療所数(R1.10.1現在)… 16施設(水沢6、江刺5、前沢1、胆沢2、金ヶ崎2)
- \* 奥州金ヶ崎夜間診療所小児患者割合… 約7割(年平均患者数2,000人のうち1,400人)
- \* 子ども(0歳~14歳)人口推移(H28.3.31-H31.3.31)… 減少(16,420人→15,236人 △7.2%)

[へき地医療]

- \* へき地診療所… 3診療所(直営診療所(江刺米里)、衣川診療所、衣川歯科診療所)
- \* 江刺の直営診療所においては、H29.4より移動診療車による巡回診療(大田代、伊手、米里、梁川)
- \* へき地医療拠点病院… 1施設(奥州病院:H28.11指定 江刺の巡回診療を担っている)

政務活動費 共通経費 整理票			整理番号	03 - 01
			支出整理日	令和 03 年 02 月 28 日
令和02年度	会派等名	奥州みらい	支出項目	資料作成費

共通経費額 (按分対象額)	2,542	円
------------------	-------	---

使途：事務文具費

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	クリップ・コピー用紙	R02-09-02	1,324		1,324
2	のり・セロハンテープ	R03-01-28	358		358
3	コピー用紙	R03-01-31	720		720
4	綴紐	R03-02-28	140		140
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			2,542	0	A 2,542

共通経費 按分表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	7	千葉 康弘	1/6	423
	2	12	廣野 富男	1/6	423
	3	13	及川 佐	1/6	423
	4	14	菅原 圭子	1/6	423
	5	17	高橋 政一	1/6	423
	6	23	小野寺 重	1/6	423
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		6	合 計	2,538	

(注意) 按分額の合計は、端数整理(円未満切り捨て)により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	

# DCMホームマック

毎度ありがとうございます

前沢店 0197-56-7722

**\* 令頁 収 証 \***

2020年09月02日(水)17:42 ｼﾞﾝ0001

責No10844427千葉(き)

016 ダブルクリップ 中 5P	
2コX単155	¥310
016 DCM コピー用紙 A4	
	¥360
016 ホワイトコピー用紙	
2コX単327	¥654
<b>合計</b>	<b>¥1,324</b>
(内10%タイヨウ)	¥1,324)
(内10%)	¥120)
(内税計)	¥120)
(税合計)	¥120)

お預り	¥10,000
お釣り	¥8,676
(消費税等)	¥120)

お買上点数 5点  
 返品・交換の際は、  
 当レシートをご持参下さい。  
 \*印は軽減税率(8%)適用商品です



ｼｰﾄNo6444 店No01320

# Y\* 薬王堂

## YAKUODO

パート・アルバイト募集中!

奥州前沢店  
0197-56-5199

**<令頁 収 証>**

2021年01月28日(木)15:12  
店:0000151 ｼﾞﾝNo:0001

アラビック ヤマトNA-	¥148
セロテープ小巻まっすぐ	¥178

小計	2点	¥326
(10%外税対象額)		¥326)
10%外税額		¥32

<b>合計</b>	<b>¥358</b>
お預り合計	¥1,000
お釣り	¥642

上記正に領収いたしました  
 <保管上のお願い>  
 財布等に入れ保管頂く場合、  
 印刷面を内側に折り返し保管  
 してください。



ｼｰﾄNo:6897  
責:008102境

# DCMホームマック

毎度ありがとうございます

前沢店 0197-56-7722

**\* 令頁 収 証 \***

2021年01月31日(日)14:42 ｼﾞﾝ0006

責No10844427千葉(き)

016 DCM コピー用紙 A4	
2コX単360	¥720
<b>合計</b>	<b>¥720</b>
(内10%タイヨウ)	¥720)
(内10%)	¥65)
(内税計)	¥65)
(税合計)	¥65)

お預り	¥720
お釣り	¥0
(消費税等)	¥65)

お買上点数 2点  
 返品・交換の際は、  
 当レシートをご持参下さい。  
 \*印は軽減税率(8%)適用商品です



ｼｰﾄNo1242 店No01320

# DCMホームマック

毎度ありがとうございます

前沢店 0197-56-7722

**\* 令頁 収 証 \***

2021年02月28日(日)15:56 ｼﾞﾝ0006

責No41374448かひ

016 綴紐 うるし先		¥140
<b>合計</b>	<b>¥140</b>	
(内10%タイヨウ)	¥140)	
(内10%)	¥12)	
(内税計)	¥12)	
(税合計)	¥12)	

お預り	¥140
お釣り	¥0
(消費税等)	¥12)

お買上点数 1点  
 返品・交換の際は、  
 当レシートをご持参下さい。  
 \*印は軽減税率(8%)適用商品です



ｼｰﾄNo7651 店No01320

政務活動費 共通経費 整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 03 年 03 月 26 日
令和02年度	会派等名	奥州みらい	支出項目	広報費

共通経費額 (按分対象額)	671,612	円
------------------	---------	---

使途：奥州みらい会派会報「奥州みらい通信 No.1～3」の発行と配布

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	新聞折込料 (No.1)	R02-05-12	67,481		67,481
2	印刷代 (No.1) 19,500部	R02-05-20	72,150		72,150
3	振込手数料 (No.1)	R02-05-20	880		880
4	新聞折込料 (No.2)	R02-11-10	107,388		107,388
5	印刷代 (No.2) 19,500部	R02-12-16	156,000		156,000
6	振込手数料 (No.2)	R02-12-16	880		880
7	新聞折込料 (No.3)	R03-03-26	109,953		109,953
8	印刷代 (No.3) 19,500部	R03-03-26	156,000		156,000
9	振込手数料 (No.3)	R03-03-26	880		880
10					0
合 計			671,612	0	A 671,612

共通経費 按分表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	7	千葉 康弘	1/6	111,935
	2	12	廣野 富男	1/6	111,935
	3	13	及川 佐	1/6	111,935
	4	14	菅原 圭子	1/6	111,935
	5	17	高橋 政一	1/6	111,935
	6	23	小野寺 重	1/6	111,935
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		6	合 計	671,610	

(注意) 按分額の合計は、端数整理 (円未満切り捨て) により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	新聞折込料
	No.1 18,590枚×(単価)3.3円+消費税
	No.4 18,420枚×(単価)5.3円+消費税
	No.7 18,860枚×(単価)5.3円+消費税

NO. 72

# 領収書

奥州市議会 奥州みらい 様

金額

¥67,481

令和2年5月12日 上記の金額正に領収いたしました

但 折込代として

内 訳	現金
税抜金額	61,347
消費税額	6,134

## 株式会社 岩手読売IS

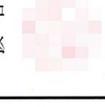
代表取締役社長 田子山 吉昭  
〒020-0836  
岩手県盛岡市津志田西一丁  
TEL 019-635-5866

県南営業所

〒023-0001  
岩手県奥州市水沢御町4番10号  
TEL 0197-25-3277



扱 者



2020.2.K





現金用

振込金受取書 (兼手数料受取書)

- ・振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯蓄種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送付します。
- ・振込依頼書に記載の相違等がなかった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ・通信機器、回線の障害等や心を得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ・振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。
- ・文書扱い相違のお振込はお受取人への到着に日時を要しますのでお知らせください。

振込方法

電信 文書

ご依頼日 年 月 日 振込 年 月 日 指定日

振込先

金融機関名 (漢字・左つめ) 先頭から7文字分ご記入ください。 農協 信連 銀行 信金 信組 漁協

店名 (漢字・左つめ) 先頭から9文字分ご記入ください。

お受取人

普通 当座 貯蓄 他

口座番号

金額 (左つめ)

十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 一

¥ 配号 不要

円

手数料 (税込)

手数料 徴収 区分

1. 即納 2. 後納

9. 不要

ご依頼人

〒 0401-8401

お電話

必ずご記入ください。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。  
この振込金受取書 (兼手数料受取書) は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。

お振込金額のうち決済未確認の小切手は、下記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続をしないで当店において返却します。



取扱店

岩手ふるさと農協前沢支店

帳票番号ZJS-KW0113 3/3 2015.05

NO. 192

# 領収書

奥州市議会 奥州みらい 様

金額 ¥107,388

令和2年11月10日 上記の金額正に領収いたしました

但 折込代として

内 訳	現金
税抜金額	97,626
消費税額	9,762



株式会社 岩手読売IS

代表取締役社長 奥井 徹

〒020-0836

岩手県盛岡市津志田西一丁

TEL 019-635-5866

県南営業所

〒023-0001

岩手県奥州市水沢御町4番10号

TEL 0197-25-3277

扱 者

2020.6.K

# 請求書

1 / 1

お客様コードNo. 0640

2020年11月9日

〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-66-  
アーク印刷株式会社  
TEL: 03-3915-4240 FAX  
振込先 巢鴨信用金庫 駒込支店(普) 3125520  
口座名義: アーク印刷株式会社

023-1113  
岩手県奥州市江刺中町5の3  
及川 佐様方  
奥州みらい 御中

TEL 0197-35-8825

担当者:

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

コード・商品名	数量	単位	単価	金額	備考
0200001 会派ちらし A4版 No.2	19,500	部		156,000*	
<b>課税対象額 摘要</b>	<b>141,819 (消費税合計)</b>				
	<b>14,181</b>		<b>合計</b>	<b>156,000</b>	

--	--

\*は税込金額です。

現金用

振込金受取書 (兼手数料受取書)

- ・振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- ・振込依頼書に記録相違等や不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ・通信機器、回線の障害等や機器の不具合等により振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ・振込ができない場合は、この手数料の戻りか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。
- ・文書扱い指定の振込は、お受取人名の到着に日時を要しますので承知おきください。

ご依頼日 年 月 日 振込指定日 年 月 日

振込方法  電話文書

お振込先 金融機関名 (漢字・左つめ) 先頭から7文字分ご記入ください。 農協 信連 銀行 信金 信組 協 会

普通 当座 貯蓄 他  口座番号 (左つめ) 十 億 千 万 百 十 万 千 百 十

手数料 (税込) 円

手数料 区分  1. 即時 2. 後納  9. 不要

お受取人 氏名 (カタカナ・左つめ) 郵便番号 (左つめ) 金額 円

〒 011-8501 岩手県奥州市前沢市城字山崎16

お振込先 岩手県奥州市前沢市城字山崎16

ご依頼人 氏名 (カタカナ・左つめ) 郵便番号 (左つめ) 金額 円

〒 011-8501 岩手県奥州市前沢市城字山崎16

お電話 必ずご記入ください。

いつもJABAバンクをご利用いただきありがとうございます。この振込金受取書 (兼手数料受取書) は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。

印紙 (200円)



取扱店

岩手ふるさと農協前沢支店

現金類	枚	
未決済小切手	枚	
貯金振替		

振込番号ZJIS-KW0113 3/3 2019.11

NO. 285

# 領収書

奥州市議会 奥州みらい 様

金額 ¥109,953

令和3年3月26日 上記の金額正に領収いたしました

但 折込代として

内 訳	現金
税抜金額	99,958
消費税額	9,995



## 株式会社 岩手読売IS

代表取締役社長 奥井 徹

〒020-0836

岩手県盛岡市津志田西一丁

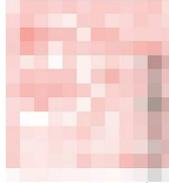
TEL 019-635-5866

県南営業所

〒023-0001

岩手県奥州市水沢御町4番10号

TEL 0197-25-3277



扱 者



2020.6.K

現金用

振込金受取書 (兼手数料受取書)

振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。  
 ・振込依頼書に記載の届着等やむを得ない事由により、振込が遅延することがありますのでご了承ください。  
 ・通信機器、回線の障害等やむを得ない事由により、別添手数料がかかるとある場合がございます。  
 ・振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかりますのでご了承ください。  
 ・文書扱い指定のお振込はお受取人への到着に日時を要しますのでお知らせください。

ご依頼日 2019年03月26日 振込指定期日 2019年03月26日

お振込方法  現金  電信文書

振込先 岩手県 盛岡市 盛岡 郵便番号 990-0001 支店 (所) 盛岡

振込金額 15,800 円

お受取人 岩手県 盛岡市 盛岡 郵便番号 990-0001 支店 (所) 盛岡

手数料 (税込) 800 円

手数料徴収区分 1. 即時 2. 後納 9. 不要

ご依頼人 岩手県 盛岡市 盛岡 郵便番号 990-0001 支店 (所) 盛岡

お電話 0196-22-1111

お振込先 岩手県 盛岡市 盛岡 郵便番号 990-0001 支店 (所) 盛岡

いつもJABAバンクをご利用いただきありがとうございます。  
 この振込金受取書 (兼手数料受取書) は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。



お振込金額のうち決済未確認の小切手は、下記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続きをしないで当店において返却します。

現金類	
未決済小切手	枚
貯金残高	

取扱店

岩手ふるさと農協前沢支店

帳票番号ZJS-KWO113 3/3 2019.11

## 令和2年度 奥州みらい活動概要

本年度は、リモート研修を含め行政視察を計画したが、受け入れサイドの理解が得られず、未実施となった。そのため、本年度初めて、会派の活動を紹介するための広報紙を発行。併せて、医療関係者、介護関係者等との情報交換会や新型コロナ対策については市長に、議員間討論の活性化を議長にそれぞれ申し入れ書を提出するなどの活動を行った。

4月9日 奥州保健所長及び総合水沢病院・医院長及び看護師長と面談  
新型コロナウイルス対策について、PCR検査、帰国者・接触者相談センターの設置状況等について、現状と今後の対応についてそれぞれ伺った。

4月20日 奥州医師会・関谷医師会長と面談  
「医師から見た新型コロナ感染の医療現場」の状況について伺った。

4月30日 新型コロナウイルス感染症対策の申し入れ書を副市長に提出

5月14日 奥州みらい通信 NO1発行 胆江日日新聞折り込みにて配布

6月18日 小野寺議長に対し、「新型コロナ対策のさらなる議論活性化を行うことの申し入れ書を提出

11月13日 奥州みらい通信 NO2号発行

1月27日 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画勉強会：講師・長寿社会課長

2月3日 介護施設現場の現状：寿生会理事長 渡辺均氏との懇談

3月26日 奥州みらい通信 NO3号発行

この他、会派の打合せ会を定例的に開催

次年度については、県立病院、市内医療法人、医師会と連携し、地域の医療介護を守りつつ、市立病院（2病院3診療所）の在り方について学習を深め、会派活動に取り組む予定。

# 奥州みらい通信 NO1

## 新型コロナウイルス感染症対策特集

発行：奥州市議会 会派 奥州みらい  
 発行日：2020年5月14日  
 連絡先：高橋政一 TEL 080-5574-9414  
 奥州みらい代表 奥州市議会議員 小野寺 重  
 同 菅原 圭子  
 同 高橋 政一  
 同 及川 佐  
 同 廣野 富男  
 同 千葉 康弘

2020年4月30日

奥州市長 小沢 昌記 様  
 奥州みらい代表 奥州市議会議員 小野寺 重  
 同 菅原 圭子  
 同 高橋 政一  
 同 及川 佐  
 同 廣野 富男  
 同 千葉 康弘

### 新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ

貴職に置かれましては、日頃より、市民の福祉向上にご尽力いただいていることに敬意を表します。

新型コロナウイルスが全国に拡大する中、市民の安全安心のために、感染症対策の拡充・強化に緊急に取り組む必要があります。特に、感染症病床4床を保有する総合水沢病院は、県立胆沢・江刺病院と共に胆江2次医療圏の中心的役割を果たすことが求められています。

現在、奥州市には感染者は発生していないものの全国的な緊急事態宣言により、観光客の激減、会合の自粛、イベントの中止等により地域経済に多くの影響を及ぼしており、このような事態が続けば、事業者の事業継続も危ぶまれる事態になります。

つきましては、新型コロナウイルス感染症対策の徹底、市民生活の安定、小中零細企業の事業継続を進めるため、県や金ケ崎町、医師会、商工団体等と連携を強化しながら早急な対策を講じていただきますよう、以下について申し入れを行なうものです。

### 記

- 1 岩手県に対し、発熱外来（ドライブスルー方式を含め）の設置とPCR検査の拡充と迅速化を要請すること。
- 2 総合水沢病院の感染症対策の強化と医療従事者の安全のため、医療用マスク、フェイスシールド、防護服などの確保や入院病床の機能拡充等を実施すること。
- 3 マスク・消毒用アルコール等を確保し、状況に応じて、市民への配布や各施設への配置を迅速に行うこと。
- 4 岩手県、金ケ崎町、県立胆沢・江刺病院、医師会等と連携し、感染者入居施設、入院病床の確保、医療従事者の負担軽減等、迅速対応ができるようにすること。
- 5 生活困窮者や生活弱者に対する支援策を早急に講ずること。
- 6 事業者への融資に対する金利負担軽減、雇用安定と維持のための政策強化、家賃補助、休業補償等の充実を図るため、国・県に要請するとともに、市独自の支援策を更に検討・実施すること。

### 奥州みらい議員団



高橋政一議員



小野寺重議員



及川 佐議員



菅原圭子議員



千葉康弘議員



廣野富男議員



▲申し入れを行う奥州みらい議員団

## ☆会派 奥州みらいとして市に申し入れを行いました☆

4月30日、会派6人全員が出席し、市に対して小野寺重代表が及川新太副市長に6項目からなる「新型コロナウイルス感染症対策」の申し入れを行いました。新田伸幸副市長、千葉典弘総務企画部長も同席し、4月28日に開催された胆江圏域感染症医療連絡会では、「発熱外来」の設置が確認されたとの話がありました。さらに総合水沢病院の機能強化や医療従事者等の安全に力を入れ、圏域の医療が崩壊しないよう進めていきたい。との話がありました。

また、市として特別定額給付金（10万円）事業及び経済支援の実施については、5月11日の臨時議会に提案すること、国の政策の不十分な部分を県及び市でカバーしながら、市民、事業者の再出発を支援するとともに地域経済回復へ軸足を置いて進めていきたいとの話がありました。

### 奥州保健所長に聞く

4月9日に奥州保健所を訪問し、仲本奥州保健所長に新型コロナウイルス対策についてお聞きしました。奥州保健所管内(奥州市、金ヶ崎町)では、「帰国者・接触者相談センター」を設置し、9:00～17:00まで電話相談を受け、受診が必要と判断した場合には「帰国者・接触者外来」を設置している医療機関を紹介しています。電話 0197 - 22 - 2891 (平日のみ)。また、県医療政策室では24時間対応(休日含む)しています。電話 019 - 651 - 3175。

PCR検査は、環境保健研究センターのみで対応しており、検査可能件数は40検体/日(4月9日時点)となっています。奥州保健所管内では、これまで16例の検査が実施され、すべて陰性であったとのこと。

発熱、咳などの症状があったら、外出は控えてください。体温が37.5度以上になったり、激しい咳、息苦しい等の症状があったら、すぐ奥州保健所に連絡してください。絶対に直接医療機関に行かないでください。マスクの着用や咳エチケット、手洗い、アルコール手指消毒をしましょう。みんなで感染予防に努めましょう。とのことでした。

### 総合水沢病院院長・看護師長に聞く

4月9日総合水沢病院を訪問し、菊池病院長や遠藤総看護師長及び朝日田経営管理部長等に出席していただき、次のようなお話がありました。感染症病床は4床ありますが、設備の関係で実際には3床が限界です。防護服や医療用マスクが十分ではなく、対応できる医師も現状では1名であり、もし感染者が生じた場合は不安な部分もあります。感染者が発生した場合は胆沢病院との連携も重要になってきます。また医療従事者への風評被害も気になっています。



▲総合水沢病院での話し合い

### 関谷奥州医師会長に聞く(4月20日)

#### 医師から見た新型コロナ感染の医療現場

- ・ケガで来院された患者が、新型コロナでないか不安である。
- ・熱が続き来院された患者を、レントゲン検査したら肺に影があった。主治医が保健所にPCR検査を求めても受けられない。検査を抑制している現実がある。
- ・市内の病院は、感染症を防ぐマスク・防護服・フェイスシールド・手袋・消毒液もない。無防備のまま診療を行っている。医師だけでなく、看護師、医療スタッフの安全を守れないなかで治療を続けている。非常に心配だ。岩手県は、医師数が全国で一番少ない県である。ここで新型コロナ感染者が出たら地域医療は守れない。地域医療が崩壊する。奥州市は、新型コロナがまん延する最悪を想定し、今準備すべきである。

奥州医師会長の話の中で、早急な対応すべきことは次のことです。

1. 新型コロナ検査(PCR検査)を主治医が求めたらすぐ検査してほしい。
2. 発熱外来を一日でも早く作る。発熱の患者が、発熱外来を受診することで、地域医療が守られる。PCR検査もすぐできる体制が必要です。診療する場所は、市が中心となり決めないといつまでもできない。
3. 新型コロナ専門病院を市内のどこにするかすぐ準備すること。現在準備している入院病床数は、水沢・胆沢・江刺病院で約12床で少ない。専門化することで、院内感染の危険が軽減できる。民間病院ではリスクが大きくてできない。最悪を想定して市立病院・診療所のどこにするか準備しないとしない。医師の補充は、胆沢病院との応援体制を作るべきである。
4. 軽症者の宿泊施設をどこにするのか準備すべき。新型コロナが発生した場合、入院病床は限りがある。軽症者の家庭内療養は、家庭内感染の拡大の危険がある。市は最悪を想定し、いま宿泊施設を準備すべきである。また、施設には保健師・看護師を常駐させることが必要になる。
5. 住民への呼びかけ  
マスク、手洗い、うがい、消毒、こまめな換気をする。外から帰ったら手洗いとうがいを。不要不急の外出を控える呼びかけすべきです。奥州市は、高齢者率が高いので新型コロナが、まん延し始めたら大変なことになります。市として最悪を想定し、いま準備すべきだと思います。



関谷奥州医師会長

**お知らせ:** 特別定額給付金(10万円/人)受付始まる。同給付金の給付対象者は、4月27日現在、住民基本台帳に登録された方で、世帯主がオンライン申請か郵送申請のいずれかの方法の申請受付が始まります。詳しくは奥州市福祉部福祉課にお問合せください。

**奥州みらい通信 NO 2****9月定例議会を振り返って**

令和2年11月13日発行

発行：奥州市議会 会派 奥州みらい  
 発行日：2020年11月13日  
 連絡先：高橋政一 TEL 080-5574-9414  
 奥州みらい代表 奥州市議会議員 小野寺 重  
 同 菅原 圭子  
 同 高橋 政一  
 同 及川 佐  
 同 廣野 富男  
 同 千葉 康弘

**事業の選択と集中で着実な市政運営を期待！**

会長 小野寺重



9月議会で、令和元年度会計決算審査が行われました。決算特別委員長を拝命しました。7日間議会と市当局との議論は真剣そのもので、来年の市政運営に大きく反映されるものと感じました。実質単年度収支は2年連続赤字でいかに歳出抑制が大きな課題であると思っています。

今、世界中を脅かす、コロナ感染症で経済が低迷しているこの反動が、必ず私たちの生活も世界経済も変わっていく気がします。それを乗り越えていく努力をしなければと思っています。

奥州市も合併15年を迎えました。その間、岩手宮城内陸地震、東日本大震災、大雨の水害など多くの自然災害を経験しました。

その後多くの財政を投入して市民の不安を解消し安全な生活のために取り組んできました。

期待をもって奥州市合併をしても、経営基盤の根幹をなす市税収入の落ち込み、行政改革で生み出された財源を上回る社会保障、病院、教育等の関連費の大幅増、また多額の財源を必要とする課題が山積みするという危機的財政状況を背景に、限られた予算を効率的に効果的に活用するとして今年度予算が執行されております。

本市における山積みされた課題をクリアするためには、限られた財源を将来の公共施設など「選択と集中」を持って必要な事業に効果的に投入し、本市の特徴を生かした持続可能な財政運営を実現していくためには歳入確保、歳出抑制の徹底など財政計画に基づく取り組みを着実に実行しなければなりません。結びに、様々な課題に対して中長期的なビジョンを明確に示し、市内総力を持って更なる充実をしていただき、市民の理解を得る努力を切望します。

**公立幼稚園・小中学校再編を考える 幹事長 高橋政一****2021(R3)年4月入園3歳児の募集停止から一転募集再開へ。**

市では、佐倉河、羽田、岩谷堂、南都田、各幼稚園の3歳児の入園を停止し、他の施設に入園させる予定でしたが、保護者や住民の「あまりにも急すぎる」との強い抗議を受け、来年4月入園の3歳児募集停止を撤回し、従来通り3歳児を受け入れることにした。市は、当初2025(令和7)年度までに教育・保育施設の再編完了を目標としており、2025年度を待たずに閉園を早めたかっと思われる。当初の提案では以下のように、最短で、来年度から2年間で各幼稚園は閉園になる予定であった。

① 3歳児を募集停止にし、2021(R3)年度は各園4歳児、5歳児の2年保育となる。

② 2022(R4)年度は、5歳児が卒園し、4歳児が5歳児(年長)になり、年長だけのクラスになる。

③ 2023(R5)年度は、5歳児(年長)が卒園し、園児は在籍しなくなる。

**問題点**

▲ 11月20日～12月4日までが入園書類の受付期間であり、期間がなく拙速である。

▲ 2015(R7)年度までに閉園というが、ロードマップ(閉園までの行程表)が示されず、来年度からの募集停止の理由が曖昧である。

▲ 兄弟がいる場合に、別々の幼稚園に通うことになり保護者負担が増加する。

▲ 子どもの人数や通園距離、時間などで園児バス運行に支障が出る。バス代の負担が生じる

▲ 広報奥州10月号の幼稚園の園児募集では、3歳児の募集停止が一切触れられていない。

▲ 今回の問題点を整理し、明解で丁寧な説明が必要である。

**奥州市小中学校再編基本計画について**

奥州市小中学校再編検討委員会は、2020年7月に小中学校再編基本計画(素案)を作成した。これは、教育委員会事務局が作成した再編(案)をそのまま追認したものです。再編(素案)が突然出てきた理由は、再編検討委員会の論議の中では、抽象的な内容ではなく一つの方向性を打ち出すべきではないかという論議になったためです。この具体的な内容は、保護者・地域住民や校長をはじめ教職員も初めて聞く内容でした。その内容は、現在27校ある小学校を12校に、9校ある中学校を7校にするものです。木細工小学校は一番早く来年4

月から、玉里小学校に統合するとしていますが、これは急すぎたといえる。

○水沢では、黒石小を姉妹小に、羽田小を常盤小に統合。○江刺では、愛宕小を除く10小学校を岩谷堂小に統合。江刺東中と江刺南中を江刺一中に統合する。○胆沢では、愛宕小・若柳小を南都田小に統合。

○衣川では、衣里小を衣川小に統合。

各地区の最終的な学校数は

	水 沢	江 刺	前 沢	胆 沢	衣 川	合 計
小学校	6	2	1	2	1	12
中学校	3	1	1	1	1	7

統合の進め方は、地域説明会を学区区ごとに実施、合意があったところから地域懇談会・検討委員会を開催していくとしている。

#### 今後検討が必要な点

- (1) 統合(素案)は(素案)と表記しながらかなり具体的な内容なので地域懇談会や検討委員会は統合(素案)を追認する形になる。教育委員会主導であり好ましいとは言えない。
- (2) 通学距離は小学校8km、中学校では12kmが適正距離としているが、本細工小～岩谷堂小は学校間距離で24kmとなる。あまりにも広大な学区となる。
- (3) スクールバスがあるので問題ないと考えているようだが、江刺の場合は長距離となり、スクールバスを使わない日は保護者が送迎することとなりかなりの負担となる。
- (4) 通学時間はスクールバスで1時間以内を許容しているが、家からバス停までの時間を考えると、小学校低学年はかなりの負担となる。
- (5) 統合玉里小を存続させ、江刺東中と江刺南中を統合して存続させる方法もある。理由は学区の縮小と政府が学級定数を35人から30人とする方向で進めようとしているからである。
- (6) 各地区の保護者だけでなく、地域の皆さんも一緒になって考え論議をし、最もいい方向に進めていくことが必要である。そのためには、教育委員会が様々なサポートをしていくことが重要である。

## 避難所運営と防災対策について 千葉 康弘



### 1 避難所運営について

避難所は、市職員と地区センター職員で構成され、感染防止のため換気・スペースの取り方・間仕切り板等で3密を避け準備しています。災害から身を守るため、災害時には安心して避難所を活用していただきたい。避難所の食糧は流通備蓄を基本としているが、大規模災害時には流通が止まります。市は危機管理を考えるなら総合支所・地区センターに、水、乾パン、液体ミルク等の食糧備蓄をすべきです。また、ペットを同伴した避難も考えられますが、市の受け入れ準備はできていない状況にあり解決が望まれます。

### 2 自主防災組織の現状

阪神淡路大震災以降、自主防災組織の重要性が言われています。奥州市の自主防災組織は、96%組織率になっているが、実際の訓練は、ほとんど行われてこなかったように思われます。先日、地元の自主防災組織の防災訓練に参加し気付いたことは、避難・安否確認係の役割を係員に明確に示すこと、地域を巡回する係員の安全のため複数で行動することなどがありました。地区役員・係員は毎年替わります。避難・安否確認を担当する係員も高齢が多い中、高齢者・要支援者を安全に避難させる方法をどう引き継ぐのか、地域に任せるだけでなく市も知恵を出さなければならない。高齢者・要支援者の避難は機械的ではなく、日頃の声掛け、顔合わせと信頼が大切になります。今後も地区民が互いに声を掛け合い協力して、高齢者・要支援者と共に地域の安全を守り続けたい。

### 3 自主避難を振り返り

今年7月に局地的な大雨により、特に江刺の山間部で河川出水・土砂崩れがあり、市内では多くの農林・土木被害が発生しました。また北上川沿いでは水位上昇が見込まれ、地域が一丸となり早めに高齢者の自主避難がありました。区長、民生委員、ご近所スタッフが中心となり地区センターへ搬送しています。グループホームでも、早め明るいうちに自主避難を行っています。いずれも高齢者・要支援者は急な動きが難しい事情があり、今回の早め明るいうちの避難したことが何もなく良かったと言えます。最近、いままでも考えられない災害、洪水、内水氾濫、土砂崩れなどが頻発して身の危険を感じるほどです。災害時には各自が異変に気づき、危険を避ける・自分の命を守るなどの行動が大切です。そこで、次の2点考えたい。

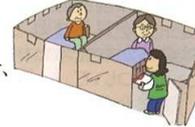
- ・テレビ・ラジオ・奥州FM・メール・SNS・緊急告知ラジオ等で情報提供しているが、情報を受けた各自が早めの避難準備・避難行動をすることが大切ではないのか。
- ・グループホームや高齢者・要支援者に、いま以上に地域が災害時避難を手助けする体制を考える必要があるのではないか。市民に任せるだけでなく、市は災害のあと想定外と言う事のないよう具体策を検討頂きたい。

## 4 自助・共助・公助

災害対策には、一人一人が自ら取組み自身と家族を守る「自助」地域で助け合う「共助」行政が行う「公助」の3つがうまく機能することが重要です。中でも、自助・共助が災害時にとても有効だといわれています。防災対策には、十分とか大丈夫というものはない。日頃から防災に備えて自分や家族を守ることが大切です。その上でしっかりした地域コミュニティーを作り高齢者・要支援者を安全に避難させる災害対策を講じ、地域で支えていきたい。

## 5 準備したい防災用品

- ・災害時の備えとして準備するもの（自宅用）：ライト、ラジオ、水、非常食3日分、手袋、タオル、救急用品、マスクなど
  - ・避難時の持ち物（避難所用）：上履き、ライト、ラジオ、毛布、手袋、マスク、石鹸、薬、体温計、お薬手帳、生活用品、タオル、ビニール袋、小銭、運転免許証など
- ※避難時に忘れ物しても決して戻らないのが鉄則です。



## 6 まとめ

災害時は、早め明るいうちに避難するのが一番の安全策です。奥州市では、早めの避難情報発信に努めています。そこで各自が異変に気づき避難準備・避難行動することが大切です。情報があっても、すぐに行動できない高齢者・要支援者は、地域みんなで助け合う避難体制を作ることです。

地域の共助に頼るだけでなく、市は避難体制づくりに積極的に関わり支援していただきたい。市民はハザードマップを活用し、周辺の危険箇所・災害時の避難経路の確認を家族で話し合うなど、日頃から災害に備えた行動をしたいものです。避難が遅れた場合は、安全な建物、2階や垂直避難も有効です。命を守る行動を地域みんなで繰り返しましょう。

## 総合水沢病院・累積欠損金 19 億円

廣野富男



9月定例会の一般質問において、総合水沢病院の経営が悪化し続けている状況から、今後の水沢病院の経営の見通しを市長及び病院事業管理者に質した。それぞれ次のような答弁であったが、その概要と私なりの考え方を今回ご紹介したい。

市長は、「病院会計への繰出金はここ15億円で推移している。今後、病院・診療所改革プランに掲げた年次計画額の5%を、令和7年度からは新たな医療体制（新市立病院建設後を意味する）のもと、運営経費の3割を圧縮する計画でいる。令和元年度末の19億円の累積欠損金（赤字額）をご指摘されたが、明日にでも倒れる経営状況ではない。今後、単年度黒字化に努め、欠損金を減らしたい。」との答弁であった。しかし、病院事業会計に8億円もの繰出金を支出してもなお、3億5千万円ほどの赤字が出ており、実質、11億5千万円もの赤字が毎年出ている。担当部署の懸命な努力は報われず、単年度黒字化の実現性は低い。結果として、累積欠損金は、雪だるまのように増え続け、市民の税金で全額補填されるのではと心配している。市長をはじめ一部の市民は、老朽化した水沢病院を建替え、新市立病院の建設を切望しているが、当胆江医療圏の医療需要の現状は水沢病院がなくとも、市内の医療環境は十分に確保される。新病院建設による新たな財政出動は、更なる市財政を悪化させるもので、夢を描ける市政の発展は程遠いと感じる。

新市立病院建設費100億円が今般の財政計画に盛り込まれた。病床数百床を減らすことで、新市立病院の建設計画自体も縮小されるが、市内に2つの県立病院のほかに市立病2病院3診療所のある市はどこにもない。市の財政状況、水沢病院の経営状況、胆江医療圏における医療需要状況等総合的にみても、「赤字を増す病院建築政策」にストップを掛ける勇気を市民に望みたい。



## 新病院建設で経営改善になるか

病院事業管理者は「令和元年度の経営実績は、純損益は3億5千万円の赤字、病床利用率50.5%と厳しい。現在は、地域包括ケア病床の増床や診療報酬の増収等に取組んでいるが医師数の減少やコロナ感染症の影響で抜本的な改善に至っていない。医師確保を最重要課題として取組んでいく。今後、市立医療機関の役割分担、再編等を進め、健全な経営の実現に努めたい。」との答弁であった。

関係者の話によれば、医師一人当たり年間約一億円の医療収益を上げるらしい。単純に、医師3.5人を確保すれば3億5千万円の赤字は解消されるが、岩手県や東北地方の医師不足の現状から見ても、3.5人の医師を招聘ができる可能性は低い。

結論から言えば、巨額のお金を投じて市立病院を建設して赤字が解消される補償・担保はない。更には、コロナ禍による地域経済の冷え込みによる市税の激減、25年問題とされる超高齢化による社会保障の増加。公共施設等の老朽化に伴う長寿命化への財政出動など、財政支出は増える一方である。今後一層、市民要望が抑制され続けるのであれば、むしろ、県立胆沢病院等の医療を充実させる財政支援をしながら、当胆江医療圏の更なる医療介護の充実を選択するのが最良と考えるものであり、市民に問い続けたい。

### 奥州市立病院・診療所の医療資源の選択と集中を 及川 佐



奥州金ヶ崎地域医療介護計画は資料が膨大なので、その中の総合水沢病院の外来、入院、救急の項目に焦点を当て余裕を使い、主内容を紹介します。なお、余裕度については、明確な規定は書いてありませんが、議会での質疑では医療機関の一番忙しいときの人数（実績値）ということです。

#### ○一般外来について

医療介護計画では「一般外来の医療サービスの大半を診療所が担っている。…将来的にも余裕が見込まれる。」とあります。外来をみると、総合水沢病院とまごころ病院の役割は全体から見ると極めて少なく、他の医療機関で代替えが可能だと推測できます。

#### ○入院について

医療介護計画では「…入院受け入れに関しては充足しているものと考えられます。」とありますように同様に他の医療機関で代替え可能と思います。

#### ○救急について

医療介護計画では、「救急患者の受入をした病院、診療所の地域別の患者数は、診療所で一部偏在が見られたものの、…余裕度が高いと考えられます。」記載しており、胆沢病院の余裕度は大きく総合水沢病院・まごころ病院の役割は極めて少ないといえます。と記述しています。外来、入院と同様に他の医療機関代替えが可能と思います。

前述のように市立2病院（総合水沢病院・まごころ病院）の役割は、一般外来・入院・救急に関しては他の医療機関と比べると高くなく、代替えが可能と推測できます。しかし透析や地域包括ケアについては、総合水沢病院が必要と思われるし、訪問看護・訪問医療等でのまごころ病院の役割は大きいと思います。

#### ○医療介護計画では100床削減を打ち出しています。

外来・入院・救急等の各病院診療所の具体化は今後の**次期改革プラン（※）**で明らかになります。

#### ○一般会計からの繰出金について

平成26年度以降、総合水沢病院に対して10億円から8億円では一般会計からの繰出しが行われてきました（市立病院全体では約15億円の繰出金）。後に国から約3割交付税措置で戻ってきますので、実質、総合水沢病院には5～7億円が毎年繰出金として繰り出されています。

#### ○現改革プランの点検・評価調書の指標を見ると病院経営の悪化傾向がはっきり見ることができます。

この原因にはいくつか考えられます。1. 医師不足、2. 人口減少による影響、3. 診療科目等の不足により他地区の医療機関への移動が見られます。

入院患者数や外来患者数の継続的な減少は、医師数だけの問題でないことがわかります。

#### ○今後のあり方

「厳しい財政状況の中にあっても地域に必要な医療を守るため、各医療機関の機能分担と連携を強化し、他の病院と重複し過剰と認められる機能の見直しや地域に不足が見込まれる機能へ特化するとともに、経営、財政とも持続可能な態勢にしなければならない。」とあります。上記のように公立病院の連携の推進・再編が必要であり、奥州市立病院・診療所の医療資源の選択と集中が必要です。それが実際に実行できるかが今問われています。

※現在の「奥州市立病院・診療所改革プラン」は、平成26年度～令和2年度までです。次期「改革プラン」は、年内に素案が出される予定です。



### 【投稿】傍聴席から

副議長 佐藤郁夫

9月定例市議会が8月28日から9月24日までの27日間開催されました。

9月定例市議会は決算議会と言われ、各部門別に前年度の決算審査が行われました。9月11日 商工観光部門と14日福祉、健康子ども部門の審査に前沢高校1年生50名が2班に分かれ傍聴していただきました。

先生のご配慮により以下のような感想文を寄せていただきました。その中では、衣川荘の民間移譲問題、胆沢ダムを中心とした観光開発推進、若者、女性の自殺が多いこと。保育所の待機児童解消のための施策等、身近な部門の審査のため多くの関心が寄せられました。また、「質問、答弁については丁寧に行われて大変勉強になりました。また、傍聴は初めてのことであり自分自身緊張しました。」と。何人かの生徒が、議員となって奥州市をもっと良くしたい。奥州市の良さを知ってもらいたい等の感想が寄せられています。大変心強く思いました。

《編集後記》2020年度の6月、9月議会も終わり、間もなく12月議会を迎えようとしています。稲刈りも終わり、紅葉も深まり季節は冬に向かっていきます。朝晩の寒さも一段と強まってきています。皆様も体調はいかがでしょう。コロナ感染症の影響で皆様とお話しする機会が少なくなってきております。奥州みらい通信をお手元に届けることができ、私たちの議会活動の一部を紹介できますことは幸せの限りです。思いの丈が先走ってしまい文字数が多くなり読みにくいところがあるかもしれませんが、ご容赦ください。



(菅原圭子)

# 奥州みらい通信 NO 3

## 3月定例議会を振り返って

令和3年3月19日発行

発行：奥州市議会 会派 奥州みらい  
 発行日：2021年3月19日  
 連絡先：高橋政一 TEL 080-5574-9414  
 奥州みらい代表 奥州市議会議員 小野寺 重  
 同 菅原 圭子  
 同 高橋 政一  
 同 及川 佐  
 同 廣野 富男  
 同 千葉 康弘

### 『平泉世界遺産の登録見通しについて』

令和3年3月議会一般質問より

会長 小野寺重



#### 教育長への質問：

この件では令和元年9月5日の会議で一般質問致しました。

あれから一年半、一向に追加登録の兆しが見えない、完成間近な一閑遊水池事業の完成による白鳥館の洪水被害の拡大が心配される、若い人達は地元を離れ高齢化が更に進む、若い人達に住んでもらうにはいち早く安全で安心な白鳥館にしなければならない。

私にも地域の方々にももう時間がない。願わくは世界遺産登録も北上川治水対策も早期に実現できることを祈っているものです。それには行政も我々住民も、声を上げ積極的に取り組んでいかなければならないと考えます。

登録に向けての経過を申し上げますが、平成9年にいわい観光振興委員会が平泉を世界遺産へのアピールがきっかけで、10年かけて平成20年に推薦書を提出しましたが、残念ながら登録になりませんでした。それは10の資産構成で推薦したわけですが、平泉文化との関連がはっきりしないためだったと聞いてます。そこで再チャレンジに向けて平泉だけの資産で進めましたが、それでも柳の御所は除外され、平成23年6月に平泉が世界遺産に登録になりました。

それから10年、あの当時は、追加登録は2～3年もすれば実現しますよという話でしたが追加登録は一向に進まない。平泉が世界遺産に登録以降10年間で新しい世界遺産が日本に7件も誕生しました。

今、文化庁をはじめ岩手県教育委員会、関係機関では、次は柳の御所だけを追加登録しよう、そしてその他の遺産、白鳥館、長者ヶ原廃寺跡などは将来的に調査の成果があったら追加登録に向けて申請するとの事であるが、追加登録の取り組みは令和4年までとし、各首長も了解し県に申入れし回答待ちの状況との事である。この事は令和元年9月6日、私が一般質問した次の日の新聞記事でした。

先日2月7日に一閑で登録10周年フォーラム平泉が開催されました。その中でわずかに2024年まで拡張の調査研究を計画するとはありました。

白鳥館遺跡は他の地区とは状況の違う、北上川の氾濫により道路が寸断され生活に大きな支障が出る。白鳥館のほとんどの人達は白鳥館遺跡は世界遺産にならなくても今の国の指定で充分である。それよりも安全で安心して暮らせる地域にして欲しいと願っている。そこに住んでいる人達の願い、生活を犠牲にしてまで登録を進めなければならないのか、教育

長伺います。

#### 教育長答弁：

本市においては、前沢地域の「白鳥館遺跡」及び衣川地域の「長者ヶ原廃寺跡」の調査研究を進めてきました。

その成果として「白鳥館遺跡」は、平泉中心区域と直接的な関係が推測される手工業生産遺跡であることが確認できました。しかし、一部の資産候補を除き、世界遺産としての登録には、さらなる平泉との関連性の証明が必要とされたことから、岩手県、一閑市、平泉町と協議の結果、平成29年度末の推薦書案提出を見送り、当面、指摘された課題に対する取組を継続することとしました。

現在は、平成30年2月10日の県及び3市町の関係者会議の合意に基づき、取組期間や、推薦書提出時期といった具体的なスケジュールについて、県との協議を進めると同時に、発掘などの調査研究に取り組んでいます。また、今年度には白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡の整備を推進するため、遺跡の整備基本計画を策定しています。

今後拡張登録への取組について、早期に関係者間での合意を図り、県と2市1町が一体となって計画的な取り組みが推進できるように要請していくとともに、専門家等から指摘されている「平泉との関連性」、「顕著で普遍的な価値」の証明について、引き続き資産の調査、研究を進め、追加登録に向けて努力していきます。

併せて、整備計画に基づき、遺跡整備を推進し、追加登録のみならず、広く一般に理解されるよう、遺跡の価値を高めていきたいと考えています。



白鳥館遺跡

### コロナウイルスの最後の砦は「ワクチン接種」 幹事長 高橋政一



アメリカの製薬大手ファイザーが開発した新型コロナウイルスワクチンが、2月12日に初めて成田空港に到着しました。年内に7200万人分のワクチン供給を受けることになっています。イギリスの製薬大手アストラゼネカからは6000万人分、アメリカの製薬会社モデルナからは、今年の9月までに2500万人分のワクチン供給を受けることになっています。

2月17日には、日本で初めて国公立病院の医療従事者約4万人に対してワクチン先行接種が開始されました。岩手県では先行接種病院はありませんでした。2月21日にはファイザーワクチン第2便が、3月1日には第3便が到着し470万人ともいわれる医療従事者へのワクチン接種が始まりました。岩手県では3月6日から、職員100人以上の医療機関が接種を開始しました。

65歳以上の高齢者への接種開始は、4月12日からとなっていますが、感染者が多い関東地区や関西地区から始まり、岩手県での接種は遅くなるのではないかと思います。早期の接種が望まれます。

胆江地区では、国からワクチン配送を受ける医療機関は総合水沢病院と金ケ崎の岩手県予防医学協会県南センターとなっています。この2か所から、接種医療機関や集団接種会場に移送されます。高齢者施設で接種される可能性もあります。

接種までの流れ（接種は強制ではありません。辞

退することもできます。）

- 1 市から、お知らせ、接種券（クーポン券）、予診票が郵送されます。  
予診票…健康状態を記入します。
- 2 電話やインターネットで接種ができる病院や診療所、集団接種会場を予約します。コールセンターで受け付けし、疑問点があれば電話で答えてくれます。
- 3 接種するときには、接種券、予診票のほかに健康保険証、運転免許証など本人確認ができる書類が必要です。
- 4 接種会場では予診票を出し、お医者さんが体調や病歴を尋ねます。次にワクチンを注射し、終わったら15分以上会場内で待機し副反応が出ないか確認します。
- 5 注射は感染症予防の効果と副反応のリスク情報の説明を理解して、本人同意がある場合に限りです。強制ではありません。



### 森林環境譲与税を活かせ

千葉 康弘



生産森林組合の経営は、木材価格の低迷で森林整備ができず、間伐材が放置されたり植林されずにいます。森林荒廃は水源にも影響を与え、豊かな自然が失われ土砂崩れの危機にさらされます。林業再生の鍵は国からの森林環境譲与税の活用であり、森林がずっと続く地域資源とするために、中山間の所得向上に繋がる施策が必要と考えます。

間伐植林され薪ストーブ等による間伐材の有効利用、さらに安全作業のためチェーンソーや草刈り機械の講習会も必要です。市は今後検討するとの返答ですが、森林は、林業者だけの課題でなく地球環境を含めて市民に関わることです。施策に反映されるようこれからも取り組みます。

#### 市営スキー場を守ろう

スキー場は、幼児から高齢者まで安心して利用でき、健康づくりの場でもあります。冬季には60人前後の雇用の場であり、簡単に無くす訳にはいかない。そこで、スキー場の活用策として、幼児から中学生

まで授業の一環や楽しさを広められないか。3スキー場共通券、バック券、運営方法で経費削減できる等の質問をしました。市は、年間5300万円の財政負担や施設老朽化により、現状での事業継続は困難であり、受け手や経費削減のアイデアが大切との返答です。3スキー場に多くの市民の他、宮城や近隣の利用者があるのは、奥州市に魅力があるからであり知恵を出しスキー場を活用せねばと考えます。



### 来年度予算（令和3年度）に見る特徴

廣野富男



#### ○不妊に悩む方への助成金が手厚くなった

これまで、所得制限があったが、令和3年1月から制限が撤廃された。令和4年からは保険適用になる。妻の年齢制限は43才未満までだが、国・岩手県のほか、奥州市も上乘せし、最大35万円の支援が受けられる。不妊に悩んできた人たちにとって朗報である。是非、奥州保健所や市に相談してほしい。

#### ○市立病院の経営は火の車、県・民間医療機関への支援も選択肢に考えよう

他の歳出を削っても、新市立病院の建設を望む声もある。しかし、今の奥州市の施策から削る事業はあるのか現実を直視してほしい。毎年15億円にも及ぶ税金を投入しても、なお令和2年度4億4千万円の赤字が出る見込みだ。新市立病院建設で医師が確保できる確証はない。むしろ、国からの交付金を活用し、県立病院や民間医療機関への支援を厚くし、当地域の医療充実を図る選択も考えるべきではないか。

#### ○江刺地域が過疎指定から外れ、更なる財政硬直が懸念される

令和3年度の過疎法の見直しにより過疎債対象事業費約13億5千万円が喪失する見通し。本市が過疎指定から外れると、令和3年度から、一般財源もしくは合併特例債で補うことになり、市全体の各種事業に投資できる財源が更に縮小されることになる。過疎からいち早い脱出を願うが、市の財政事情から見ると、過疎指定からの卒業は奥州市にとって大きな痛手であり、一層の財政難に拍車が掛かる。

#### ○昨年樹立した財政健全化計画、初年度からつまづく

本市の財政状況は県内の自治体の中でもっとも

厳しく抜本的な見直しが迫られ、昨年施設使用料の見直しを含め6項目の重点項目を設定。令和3年度で約8億9千万円の縮減を見込んだが、市民の反発もあって3か年計画の初年度でつまずいた。県南の副県都として発展するためには、本市の財政状況を懇切丁寧に説明しつつ、全ての歳入歳出の見直しするため第三者を交え、市民とともに真剣に議論すべき時期である。

#### ○地区内交通の試行範囲広がるも、利用者の立場に立った運行を

昨年10月、江刺稲瀬振興会が公共交通空白区有償運送事業をスタートした。今年4月から胆沢地域、衣川地域、江刺地域の他振興会でも、乗合タクシー方式など様々な地区内交通の試行運転が始まる。本市の公共交通システムは路線バス赤字路線の解消を目指しつつ、高齢者など自ら交通手段を持たない市民へのサービスを維持するために、地域と都市を結ぶ交通体系を第3次バス交通計画に盛り込んだ。しかし、利用したい高齢者は必ずしも、町の病院や買い物の利用だけでなく、地元地区センターや郵便局・理容店など普段の移動手段として利用を望む声も多い。市の既定概念にとらわれず、利用者にとって使いやすい地区内交通の在り方を高齢者と膝をまじえた利便性の高い運用を願う。

#### ○大雪被害 経営再開に手厚い支援を

国と県、そして奥州市のかさ上げ支援が決まり、3月8日から要望受付が始まった。しかし、小規模農家は支援を受けて営農再開するか躊躇している。本市の基幹産業である農業を守り、農家の所得維持向上のため、国のスケジュールに拘らず、再建を目指す農家に対し、奥州市と各農協には手厚い支援を望む。

#### 2021（令和3年）年度予算審査のなかで以下のようなテーマを巡って議論が行われました。

(詳細は奥州市のホームページ議会中継録画をご参照下さい。)

##### 教育委員会部門

- いじめに問題について
- 特別支援教育支援員の配置について
- GIGA スクール構想について

##### 健康福祉部門

- 避難行動要支援者支援について
- 保育施設の待機児童問題について
- 病院会計及び「奥州市立病院・診療所改革プラン」について

##### 建設環境部門

- ごみの減量化の取り組みについて
- 空き家対策について
- 道路整備について
- クリーンパークについて
- 除雪対策について、○水道水供給の老朽化対策について

##### 総務部門

- 財政健全化について
- 協働まちづくりについて
- 投票区再編について

##### 産業経済部門

- 中小企業支援について
- 地域の活性化について
- 農業振興について



### 特養ホームへの入所待機者のゼロ実現を 及川 佐



一般質問：○特別養護老人ホームのあり方について

○介護職員の人材確保について

市長答弁：特別養護老人ホーム入所待機者解消のため、介護老人福祉施設の整備では、増築・改築が2施設、創設1施設など81床の増床を見込んでいます。しかし早急に解消すべき特別養護老人ホーム入所待機者数は117人であることから計画している特別養護老人ホームの創設・増改築が進んだとしてもすべての入所待機者が解消できない状況にあります。

市としては、特別養護老人ホーム入所までの補完する施設として短期所生活介護事業所などの整備により、早期入所待機者本人やご家族の負担を少しでも軽減できる在宅サービス体制の充実・強化を図りながら、引き続き早期入所待機者の解消対策に努めてまいります。…介護職員の人材確保については「介

護職員初任者研修受講料助成」、等を積極的に…活用します。

私の主張：特養ホーム待機者は入所目標数と実際は第7期では大きく増加しました。まして令和5年の第8期の終了時にはさらに増加する可能性があります。令和2年4月1日時点では特養ホーム早期に入所すべき人数は、126人です。この待機者は岩手県全体で一番多い人数です。市長は早期入所者の待機者をゼロにすることを打ち出すべきです。そして施設の増設や介護職員の不足を解消するための具体的な対策を立てるべきであると思います。

尚、要介護3以上の方が特養ホームに入所できます。年々要介護の方は増加しています（下記の参考資料参照）。

一般質問で「協働の街づくり指針」についても取り上げました。

②介護認定の状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	要介護3~5
H27	1105	862	1310	1186	941	928	826	7158	2695
H28	1098	890	1385	1162	962	992	814	7303	2768
H30	1113	1017	1454	1277	1024	949	799	7633	2772
R1	1164	1044	1531	1269	1014	978	765	7765	2757
R2	1167	1077	1533	1275	1065	989	766	7872	2820

H27、H28、H30は3月末。R2は9月末。

平成27年度から令和2年度への要支援・要介護714人増加。1.1倍

要介護3~5は、H27からR2年度にかけて125人増加。1.05倍

### 【投稿】高校生に期待する

### 副議長 佐藤郁夫



2月定例市議会が2月12日から3月11日迄の28日間開催されました。今議会では9月定例市議会での前沢高校生の傍聴に引き続き岩谷堂高校生の傍聴で2年生約100名が四班に分かれ4日間傍聴して頂きました。1日目は市長・教育長の方針演述に対する質疑が行われました。内容は令和3年度の市政に対して市長・教育長の考えを聞くものですが、その中でもまちづくり・商店街活性化や観光振興工業団地建設等の商工業振興、米作りや江刺リンゴ 前沢牛、奥州牛等特産物に関する事また、子育て支援・老人介護施設等身近な問題が議論され関心が高かったと思います。2日目からは一般質問でしたが、6人の議員が市政の課題、重点施策について市長の考えを質しました。熱心にメモを取る人、又、目を輝かせながら身を乗り出して聞き入る皆さんの姿が印象的でした。傍聴された皆さんは来年有権者となり市政に参画することになります。今、若年層が政治に無関心で投票率も低くなっています。又、全国的に各市町村議会においても無競争の市町村が増えております。奥州市は来年3月市長・市議会議員の選挙が行われます。昨年、前沢高校、今回の岩谷堂高校生の皆さんが傍聴を機に政治に関心を持って頂くこと・将来市長・市議会議員に立候補する夢を持つことを期待して止みません。最後に授業の一環として傍聴に取り組んで頂きました先生方に感謝申し上げますとともに市内各高校生に傍聴の機会を設けて頂くことをお願いします。

《編集後記》2021年3月11日、東日本大震災から10年目を迎えました。当日、議会開催前に震災で亡くなった方、被災された皆様へ議員全員で黙とうをしました。午後2時46分奥州みらい控室にて当時の奥州市の被災をまとめたスライドを上映し、会派みらい所属の議員で、再度黙とうを行いました。あっという間に10年が経ちますが当日は寒く、ガソリンもなく多くの市民の方が困難の中、頑張ったことを忘れることができません。再びこのようなことが起きないことを望んでいます。(菅原圭子)

